

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/incomp/image1.pdf>

平成26年9月1日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	海水熱交換器建屋海水ポンプ室排風機(A)(B)の点検時、風量調整用ダンパに固着を確認した。当該ダンパを修理。	
2	4号機	所内低圧電源盤(4A-2)の点検時、遮断器の動作不良を確認した。当該遮断器を修理。	
3	4号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(B)潤滑油冷却器の保温材が外れていることを確認した。当該保温材を点検・修理。	
4	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(B)の点検時、ポンプのくさび用ナットに腐食を確認した。当該ナットを点検・修理。	
5	5号機	原子炉補機冷却海水系ポンプ(B)の点検時、インペラ先端部に微少な欠損を確認した。当該部を点検・修理。	
6	7号機	原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出配管一次ベント弁、一次ドレン弁、二次ドレン弁の点検後の耐圧試験時、弁グランド部から水のにじみを確認した。当該弁を点検・修理。	
7	その他	キャスク保管建屋(非管理区域)において、協力企業社員が天井クレーンレールの搬出時、持っていたバールを誤って自分の右足太ももに接触させ負傷した。病院にて治療済み。なお、本災害は平成25年8月11日発生。【平成26年8月28日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2014/pdf/26082801p.pdf	